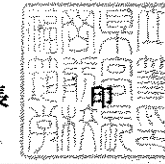




学校運営計画(4月)			評価(3月)			
学校運営方針	(1) 校訓「生きる希望 学ぶ喜び」を達成することを基軸とした生徒の育成。 (2) 知性と感性を磨き、文武両道にわたって努力する生徒の育成。 (3) 豊かな情操と広い視野を持ち、国際色豊かな生徒の育成。					
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標				
昨年度は、生徒の主体性を高めるために、授業改善や行事の改善に努めた結果、リーダーの育成や多くの希望進路の実現ができた。今年度もさらに、一人一人を大切にしたい授業、安心して過ごせる学校・教室、互いの良さを認め合える仲間づくりを図る必要がある。	1. 学力の向上	基本的な知識・技能に加え、これらを活用し様々な問題を解決できる学力を身に付けさせるために、授業改革、指導内容・方法の研究実践、進路指導の組織的・計画的な改善を進める。				
	2. 人権意識の向上	「人権が尊重される学校づくり」を全職員で目指す。教科等指導、学級経営、生徒指導、部活動指導の教育活動全体を通し、自他の人権を守るための実践行動を身に付けさせる。				
	3. 心身の健康の増進	学ぶ意欲や気力の充実にも深く関わる健康・体力、豊かな情操や自尊感情、心のしなやかさ・回復力(レジリエンス)を増進させる。				
	4. 生徒・保護者から信頼され、地域に貢献する学校	家庭・地域との協力関係を築くため、学校・教職員から自らの取組やメッセージを発信する。また、継続的に行っている地域ボランティアや介護施設訪問などを進め、地域に貢献する。				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題		
教務部	教務課	基本的な生活習慣の実践	欠席や遅刻の防止のために面談をはじめ、カウンセリングマインドで対応する。 クラス内友人関係を把握し、担任とのレポートをいち早く形成する。 学習時間調査に基づき、スマホ管理と家庭学習の時間を確保させる。 すき間時間の学習や読書活動(ビブリオバトル)の推進を行う。			
		授業改善のための継続的取組	考えさせる授業、参加型授業へ徐々に転換していくよう教員の意識を変える。 定期考査への説明・論述問題の導入の動向を見極める。 自己学習能力育成の立場から、適切な学習方法や教材を提供する。 新学習指導要領の動向に注意し、情報の収集にあたる。			
		企画広報課	式典等の円滑な運営	教頭、主幹等との連携を密にして式典の企画・準備を行う。 PTA、同窓会との連携を密にして、事前の調整を確実に行う。		
			広報活動の充実	進路相談事業・中学生体験入学・中学校訪問の説明内容を充実させる。 広報誌・ホームページの内容を充実させ、発行回数を増やす。		
	図書課	円滑な図書館活動	生徒の読書への興味関心と意欲を高める選書の実施と、新着図書の迅速な案内をする。 図書委員会への的確な指導と支援を行い、図書広報誌「WAVE」を発行する。			
		読書活動、芸術・文化活動の更なる活性化	「本」に因むイベント(筑前祭への参画やビブリオバトル等)を積極的に推進する。 生徒の豊かな情操を育むために、芸術鑑賞(今年度は演劇)を企画・運営する。			
	生徒指導部	生徒課	社会性、道徳性を身につけた生徒の育成	自分自身と他者を大切にすることと自己指導能力の育成 職員研修と教職員間の情報交換によるいじめの未然防止の推進 教育活動全体をとおした、いじめ防止に向けた指導の推進 交通ルールや通学マナー等の交通安全に関する意識の高揚		
			自己管理能力、自主性・自発性の育成	緊急時の対応能力及び危機回避能力の育成 生徒会執行部を中心とした各学校行事への生徒の積極的参加 地域の行事への積極的参加と広報活動の活性化 情報教育をとおした、情報モラルに関する指導の推進		
保健課			健康教育の推進	健康状態を把握し、自主的・主体的に健康の保持増進をおこなうことができる資質や能力を育成する。 健康相談において、不安や悩みを抱える生徒に積極的な活用を勧め、問題解決に向けての支援を行う。		
			生徒支援体制の充実	保健室での個別指導を重視し、職員間の連携を密にして、情報を共有しながら統一された適切な指導を行う。 特別な支援が必要な生徒について、各学年を通じて実施把握をし、具体的な支援方法を検討する。		
環境課		校内の美化及び環境の整備	磨かれた美しい校内・教室美化に努め、生徒の美化意識の向上を図る。 美化委員会を活発化させ、生徒自ら美化活動に励むような体制を整える。			
		地域ボランティアの充実	清掃活動にとどまらず糸島地方の環境保護のボランティア活動にする。 地域の方々と密接な連絡を取り地域に必要とされる活動とし地域に貢献する。			



(その2)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
進路指導部	主体的に自己実現を目指す生徒の育成	高い志と目標を掲げた進路選択に向けて、低学年次からの計画的な指導を行う。			
		オープンキャンパス等大学説明会への参加を促進し、進路意識の向上を図る。			
		小論文・面接指導を充実させ、読解力・思考力を涵養する。			
		総合的な学習の時間などを活用し、読解力・思考力を継続的に涵養する。			
		学年・他課と連携し、学習と部活動の両立を実現させる。			
	自主的な学習態度の育成と学力の向上	推薦・AO入試受験者の指導を組織的・計画的に行う。			
		幅広い進路選択に向けた進路講演会を計画的に実施する。			
		入試改革に向けて教員間の情報を共有し、研修会等への参加を促す。			
	情報教育課	ICT機器を利用した効果的教育活動の推進	電子黒板を積極的に活用し、ICT機器の有効活用を考える。		
			相互授業参観時に、ICT機器を使用した授業実施を奨励する。		
ネットワークを利用した校務の効率化		校務文書のPDF化を推進し、ペーパーレス化を促進する。			
研修部	「主体的・対話的で深い学び」に向けたAL型授業の取組み	AL的手法を用い、ICTを活用した授業を工夫する。			
		研究授業で得られた成果を教科内で共有し、指導に生かす。			
		相互授業参観を各学期に実施し、指導力の向上を図る。			
	校内職員研修の充実と県教育センター・他校実施の研修会への参加奨励	教務部-進路指導部と連携し「学力の向上」に関する校内研修を企画実施する。			
学年	1学年	出席を奨励し、安易な遅刻・欠席をしない指導を徹底する。			
		挨拶を励行する。			
		文武両道の精神で部活動の活性化・充実を図る。			
		学校行事を通じて学校への帰属意識を高め、社会性を身につけさせる。			
	主体的な学習姿勢と真の学力育成	充実した授業を実践し、学ぶ意欲を喚起させる。			
		小テストや課題提出を行い、基礎・基本的な事項を確実に習得させる。			
		発表、ディスカッション、プレゼン等の機会を設け、言語活動を充実させる。			
	2学年	一致団結と自学自習	「鍛ほめメソッド」の手法を踏まえ、アクティブ・ラーニングを活用する。		
			活力あふれる自主活動の推進とリーダーシップの育成		
			生徒の悩み、健康管理等に対応するための生徒情報の共有		
一段高い目標の設定と学習習慣の確立					
自己理解と自己実現		基礎学力向上に向けての生徒に応じた教科指導の充実			
		自分自身を客観的に見つめることのできる生徒の育成			
		自己管理能力の向上、思いやりを持った明るく礼儀正しい生徒の育成			
3学年	最高学年としての誇りを持ち、学校をけん引する集団の形成	自主性・自律性を持ち、リーダーとなって行動できる生徒の育成			
		進路実現に向けた進路設計の明確化			
		学校行事での成功体験を蓄積し、自尊の念を醸成する。			
	一人ひとりの進路実現に向けた学習指導・進路別指導の実践	三年生として、一・二年生を望ましい学校生活へと牽引する力を持たせる。			
		担任・学年団・保護者の連絡を密にして、生徒が自律するための後押しをする。			
		他を頼らずに、努力し、皆に貢献できる真の独立心をもった生徒を育成する。			
		自分の適性に合わせて将来のビジョンを明確にし、進学への意識を高めさせる。			
		関東・関西地方を中心に、全国を視野に入れた志望校決定を促す。			
		最後まで第一進路希望を諦めずに頑張りぬく指導を貫く。			
		入試で最高の力を発揮するために、日々の生活を大切にさせる。			